

高齢者が住み慣れた地域で いきいきと暮らすために

世界有数の長寿国となった日本。今、国を挙げて取り組んでいるのが、周囲のサポートを受けながら、高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの仕組みづくりです。高齢者相談センターが実施している地域ケア会議は、この仕組みを実現するため、住民の皆さんが話し合う場です。互いに助け合い、支え合う地域をめざして、市内各所で開かれています。

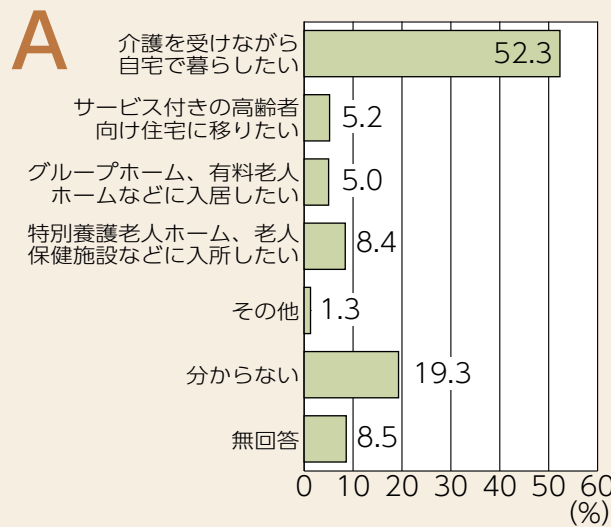
いつまでも 住み慣れた地域で

終戦間もない昭和25年、日本人の平均寿命は男女とも約50歳でした。その後、経済の発展によって暮らし向きが良くなり、医療の技術や制度も進歩したことで、寿命は大きく伸びました。平成25年には、男性の平均寿命は初めて80歳を超え、女性も87歳に迫り過去最高を更新しました。

高齢化の進展とともに、ただ単に長生きするだけでなく、老後を豊かに過ごすことが大切にされるようになってきました。多くの人にとって、住み慣れた地域で、親しい人と元気で充実した生活を送り続けることは、共通の願いになっています。

市民の皆さんの大半は、たとえ介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らしたいと望んでいます

Q 介護が必要になった場合、あなたはどのように生活したいですか



これからの三原市は どうなるの？

高齢化率が30%を超え、高齢社会を迎えた三原市。高齢者が年々増える一方、少子化による

って社会の担い手となる若者は減っています。介護現場でも担い手不足は深刻で、もはや介護保険サービスだけでは、高齢者の生活全てを支えることができなくなっています。

◎高齢者福祉課
☎0848・67・6055

特に、ごみ出しのサポートや見守りなど、日常的に起こる困り事への対応は、公的なサービスだけでは不十分な状況です。

地域で支え合う

地域包括ケアシステム

その解決策として進めているのが、高齢者の暮らしを地域住民や関係機関などで連携して支える地域包括ケアシステムの仕組みづくりです。

この仕組みが出来上がれば、高齢者は医療や介護、生活支援などのサービスを切れ目なく受けながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができます。

市では、委託先の高齢者相談センターが中心となり、地域住

民、民生委員、社会福祉協議会や医療・福祉などの専門機関が連携して地域包括ケアシステムの構築を進めています。

地域ケア会議で地域に 合った仕組みを

ただ、こうした仕組みも、画一的で地域の実態に合わないものでは、本来の効果は発揮できません。同じ市内でも、市街地や山間部、人口構成、社会資源、産業など、地域性はさまざまです。それぞれの地域に合った、オーダーメイドの仕組みが求められています。

地域ケア会議の目的は、そこで生活する住民の皆さんが地域の現状や課題について話し合い、仕組みの中に地域なりの解決策を反映させることです。

皆さんも地域ケア会議に参加し、互いに助け合い、支え合う住み良いまちを一緒につくっていきませんか。





▲活発に意見が交わされた西町地区の地域ケア会議

地域ケア会議で 特色を生かしたより良い地域へ

地域の特色を生かした支え合いの仕組みづくりに向け、市内各所で地域ケア会議が開かれています。

先月12日には、「みんなで話そう 地域の見守り支え合いin西町」と題し、高齢者相談センターどりの呼び掛けで西町地区の地域ケア会議が開かれました。地区内にある8つの町内会の皆さんを始め、民生委員、関係機関の職員、地元の歯科医など約

50人が集まり、地域の課題などについて意見を交わしました。

どりのむが実施したアンケート調査の結果や統計の分析によると、西町地区には①高齢化率が42%と市内でも特に高く、高齢者の多くは一人か二人暮らし②車が入れない狭い道が多いため、移動手段の確保が難しく、閉じこもりのリスクが高い③高齢者の多くが健康面に不安を感じており、健康づくりへの意識

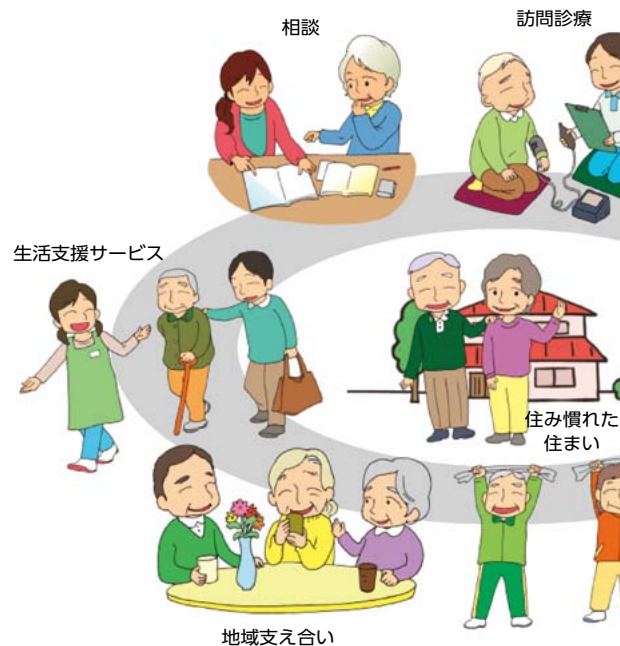
が高い、などの地域性があることが分かりました。

会議では、参加者がこれらを踏まえ、地域で助け合いや支え合いを実現するために何が必要かを話し合いました。

参加者からは、「高齢者は増える一方なので、早急な取り組みが必要」との意見が出た一方で、「プライバシーの問題もあり、近所の人でも個人の生活に立ち入るのは難しい」などの指摘もありました。

地域ケア会議は、地域の現状や課題について、住民が共通の認識を持ち、さらに暮らしやす

〈地域包括ケアシステムのイメージ〉



いまちにするために話し合う貴重な機会です。

市の委託を受け、市内5カ所の高齢者相談センターが実施し

ています。詳しくは担当地域の高齢者相談センターに問い合わせてください。

参加者の声 Voice



西町担当民生委員
やすひろ
徳永育弘さん

西町は長年住んでいる人が多く、近所付き合いも活発な地域です。生活に必要な施設なども整っています。これらの良さを生かして、さらに暮らしやすい地域にしていきたいです。



梶新町内会会長
ともじ
井口知二さん

住民の皆さんにはそれぞれの事情があり、何かを一緒にするのは思っている以上に難しいことです。こうした会議を繰り返し行い、住民が同じ意識を持つことが大切だと感じます。

市内の高齢者相談センター

東部 どりいむ……中之町六丁目31番1号
☎0848・61・4410

南部 三恵苑……城町三丁目7番1号
☎0848・63・6775

中央 三原市医師会……宮浦一丁目15番16号
☎0848・63・7100

西部 大空……下北方一丁目6番5号
☎0848・86・2450

北部 は一もに一……久井町和草1906番地1
☎0847・32・5007

※各センターには担当地域があります。詳しくは高齢者福祉課(☎0848・67・6055)まで問い合わせてください。